

## 秋の叙勲・褒章 受章おめでとうございます

旭日双光章【地方自治功労】



岩見 忠昭さん  
(上町)

1971年から91年まで5期連続で矢板市議を務め、副議長や議長を歴任しました。

瑞宝双光章【消防功労】



小川 善一さん  
(塩田)

1969年矢板市消防本部に入り、2010年塩谷広域行政組合消防本部消防指令長で退職されました。

瑞宝双光章【消防功労】



高橋 茂さん  
(東町)

1971年塩谷郡市消防組合に入り、2011年塩谷広域行政組合消防本部消防指令長で退職されました。

藍綬褒章【消防功労】



大貫 正博さん  
(扇町一丁目)

1988年矢板市消防団に入団。副団長を経て、2018年から消防団長を務められています。

## 10/20 豊かな自然を守る

山田地区のため池で、山田ミヤコタナゴ保存会を中心に40人を超える方たちが参加し、国指定天然記念物のミヤコタナゴの生息状況調査が行われ、142匹の生息を確認しました。この日は、自然観察教室も開かれ、親子11人が参加し、池に住む生き物の多様性を学びました。参加した子どもたちは「池には、ミヤコタナゴのほかに、いろいろな生き物がたくさんいて、それぞれが協力し合って生きることがわかった。豊かな自然を守るために、生き物にやさしい生活をしたい」と話してくれました。



▲池の水を抜き、池の生き物の種類や数などを調べたほか、天敵となるザリガニなどを池から出しミヤコタナゴが生息しやすい環境づくりを行いました。

## 10/24 シルバースポーツ大会

矢板運動公園で、シルバースポーツ大会が行われました。今年で46回目となるこの大会は、高齢者の生きがいづくり、体力づくり、仲間づくりを目的に毎年行われているもので、約250人が参加しました。当日は、たがまわしなど12種目の競技が行われ、選手たちは悪戦苦闘しながらも周囲の応援を受け、ゴールを目指していました。参加した方は「行政区の交流の場にもなっており、毎年みんなで楽しんでいる。特に、今年は夫婦で選手宣誓をすることができ、一生の思い出になった」と話してくれました。



## 10/25 (金) とちぎNo.1 を勝ち取る

真岡市の井頭公園で行われた、県老連スポーツ大会・第25回グラウンド・ゴルフ大会で、見事優勝を飾った東町シニアクラブの皆さんが市長を表敬訪問しました。この大会は、スポーツを通して健康の保持増進を目的に毎年開かれているもので、予選を勝ち抜いた各市町の代表27チームで日頃の練習の成果を競い合いました。市長からは「練習場所として、近所にとちぎフットボールセンターもあるので、皆さんの技術向上と健康維持に役立てていただけたらうれしい」と話されました。



▲(左から)  
・菊地 明さん  
・菊池 紀久子さん  
・須藤 利夫さん  
・道畑 計子さん  
・齋藤市長  
・道畑 一三さん  
・若目田 仁さん

## 10/31 (木) 矢板の安全を守る

第44回地域安全県民のつどいが行われ、県警本部長などから「防犯功労団体」の表彰を受けた木幡防犯パトロール隊が、市長を表敬訪問しました。平成16年に発足以来、市内全域を活動範囲として月3~4回、2時間程度、青色回転灯を自動車に装着して防犯パトロールを行っていることが評価され、今回の受賞となりました。薄井代表は、「犯罪のない安全で安心して暮らせるまちを目指して、これからもこの活動を継続して行っていきたい」と今後への意気込みを話してくれました。



▲(左から)  
・村上 剛一さん  
・小川 正義さん  
・薄井 真一さん  
・齋藤市長  
・佐藤 栄一さん

## 11/3 (祝・日) にぎわいが秋空に響く

市役所周辺で、市制施行日の11月1日を記念日として定めた「市民の日」に合わせ、「福祉まつり」「健康まつり」「秋祭りを楽しもう」「矢板地区子ども会まつり」「文化祭」「消防まつり」「図書館まつり」の7つのイベントが、盛大に開催されました。当日は、中学生をはじめとするボランティアのみなさんが各イベントで活躍し、会場を盛り上げました。また、子どもからお年寄りまで多くの方が訪れ、模擬店やステージアトラクションを楽しむなど、にぎやかな1日となりました。



▲第四区お囃子保存会の太鼓は、宝くじ普及活動を行っている(一財)自治総合センターの「平成31年度コミュニティ助成事業」により、宝くじの収益金の一部から助成を受け整備されました。

## 11/9 (土) 3年連続全国大会出場!

県グリーンスタジアムで、全国高校サッカー選手権大会栃木大会が行われ、矢板中央高校が佐野日大高校に勝ち3年連続10度目の全国大会出場を決めました。試合は、前半で先制されるも後半に追いつき、その後も幾度となく相手ゴールに迫るも決着が着かず、最終的にPK戦へ。試合時間100分を超える激闘を制し優勝を掴み取りました。高橋監督は「このチームは最後まで諦めない粘り強さがある。県の代表として、他のチームの思いも背負い全国大会に臨みたい」と意気込みを話してくれました。



▲矢板中央高校は12月31日(火)に行われる1回戦で、大分県の大分高校と対戦します。  
▲後半9分、長江皓亮主将がヘディングシュートを決め、同点に。